

『新大阪駅の掲示』について抗議する！ 会社は「問題ないから訂正しない!?!」

前号(かんさい回覧板No.31)で明らかにしましたが、「携帯電話番号とメールアドレスを面談で確認する」と個人情報と業務指示で確認するような新大阪駅の掲示について、新幹線関西地区本は関西支社に対して抗議をしました。しかし、支社からの回答は「問題ないから訂正しない。面談では携帯電話番号を教えてくださいながら聞いている」とあきれたものでした。

会社よ！この掲示は本当に問題はないのか！

以下に、新大阪駅の掲示(要約)を記載します。みなさん！会社が言うところの本当に問題がないのか掲示をよく見てください。

輸送に大きな影響を及ぼす鉄道運転事故及び大規模地震等の災害が発生した場合ははじめとした緊急時連絡体制について、緊急時において社員に迅速確実に連絡が取れる体制を整備します。

【面談内容】緊急時連絡体制の整備については、緊急時連絡先として、実用的な携帯電話の番号およびメールアドレスを確認する。尚、緊急時とは災害などの他、職場が緊急の連絡を要する場合をいう。

【面談に持参するもの】携帯電話(携帯電話を持たない者は不要)

【その他】面談は勤務として取り扱う。

間違っていたら訂正すべきだ！それほどメンツが大事か！

この掲示は、社員の個人情報を会社に教えることを強要しているといっても言い過ぎではありません。それほどこの掲示には大きな問題があります。

ところが、前述したように会社は「問題ないから訂正しない。携帯電話番号を教えてくださいながら聞いている」と問題点の隠蔽・ごまかしで乗り切ろうとしています。会社の姿勢は、誠意も謙虚さも何もありません。あるのはただひとつ！掲示を訂正したくないという会社のメンツだけです。会社のメンツのために、問題のある掲示は掲出期間である1月30日まで掲出されたままです。

会社は、個人情報を会社に教えることを強要するような掲示を早急に撤去すべきです。